

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和5 年度実施分

施設名	青梅市有料自転車等駐車場(青梅駅、河辺駅北口、河辺駅南口、東青梅駅北口、東青梅駅南口)		
指定管理者名	友輪株式会社		
指定管理期間	令和5年4月1日～令和15年3月31日	担当課	交通政策課
設置目的	自転車および原動機付自転車の放置防止を図り、市民の良好な生活環境を確保するため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書 業務日誌 人員配置表	A	協定書および事業計画書を基にした人員配置を行い、清掃・巡回等協定および事業計画どおりに行った。	A	協定や事業計画に基づいた管理や業務の履行が適正に実施されている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	月次報告書 事業報告書	A	定められた期間中に提出した。	A	定められた期間内に提出されている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	消防設備点検 年次維持計画 日常点検票	A	施設・設備の日常点検票を作成し、毎日点検している。	A	日常点検や定期的な保守点検を行い、施設の安全性は保たれている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	個人情報保護 責任者の任命 鍵がかかる書庫 等に保管 管理員研修	A	個人情報保護責任者を任命し、保管状態等を確認した。コロナ禍のため個人情報保護に係る全体研修は行えなかったが、個別に研修を行った。	A	責任者を配置し、個別に研修を行っている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	業務日誌を作成し市への提出	A	業務日誌を作成・保管するとともに、市にPDFで報告した。	A	業務日誌等は日々作成され月報とともに市に報告されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。 災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	緊急連絡体制 緊急連絡網 防災訓練の実施	A	緊急連絡体制および緊急連絡先は更新し、管理室内に掲示している。 青梅消防署のマニュアルを基に自衛防災訓練を行った。(東青梅駅北口協働)	A	緊急時の連絡体制は整っている。 青梅消防署指導の下、訓練を行っている。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか。 ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	日常点検票	A	一時利用清算機の保守点検を行い、良好な状態を維持している。	A	定期的に保守点検を行い、良好な状態を維持している。
	事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業計画書	A	事業計画書のとおりに行った。	A
利用の状況		事業計画どおりの利用状況となっているか。 ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	日報 月報	A	事業計画書のとおりに行った。	A	事業計画書のとおりに行った。
利用者意見の収集		利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか。 利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート	A	利用者の意見をより多く収集するため、粗品付きアンケートを実施した。 満足しているという結果を得られた。	A	アンケートを実施し、利用者からの意見を多く収集した。 満足度は得られている。
利用者意見に対する対応		利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート	A	指定管理者の範囲で備品等を設置した。	A	対応可能なものについては改善策が講じられている。
行政目的の達成		行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告書	A	提案どおりに実施した。	A	概ね連携が図られている。
その他提案内容等		指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業計画書	B	コロナ禍もあったことから、レンタサイクルを開始できなかった。	B	レンタサイクルが実施できていない
会計		処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	保管	A	管理業に關係する帳簿、書類は、三菱倉庫に保管した。	A
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	現金動産保険 銀行納付	A	保管時移送時の盗難に備え現金動産保険に加入した。金庫等の鍵は、管理員にしかわからない場所管理した。	A	適正に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	月次報告書 収支予算書 事業報告書	B	新型コロナウイルス感染症の影響で、売上高が減少したことにより赤字決算となった。	B	コロナ禍に起因するところからやむを得ないと解される。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	貸借対照表 損益計算書	B	-6.9%	B	経常利益率はマイナスとなっているが、コロナ禍や物価高騰にともなう人件費高騰によりやむを得ないと解される。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	貸借対照表 損益計算書	A	71.0%	A	自己資本比率は71%となっており、資本構造は良好である。
	流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	貸借対照表 損益計算書	S	507.0%	S	事業継続の安全性は高い。	

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	1	<p>売上高の減少の要因は令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」となったものの、弊社が請け負っている青梅市以外の他の自治体等において、公の施設から新型コロナウイルス感染症のクラスター感染を発生させないため、高齢者の職場であること等の理由により、減員または無人時間帯という措置を継続しております。この減員または無人時間帯分の(管理料)を管理料制を導入する自治体等に返納したこと及び、利用料金制の自転車等駐車場においては、その主要な利用客である鉄道利用者はコロナ禍の減少からゆるやかに回復していますが、コロナ禍前までと比べてなお1割程度の減少が続いており、これに伴う通勤、通学等の自転車等駐車場の利用が回復していないことから、売上高も大きく減少しております。なお、河辺駅北口自転車等駐車場の午前中は三人勤務ですが、施設や管理室が広いことから、非常措置をしないと判断しました。</p>
A	17	
B	3	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	1	<p>協定や事業計画にもとづき、適切に管理が施行されている。</p> <p>経常利益率については、新型コロナウイルス感染症対策等があるものの令和4年度と比較してマイナス幅が大きくなっており、注視する必要があると 考えているが、流動比率が高いことや経常利益率の数値のみでは直ちに、経営状況が悪いとは判断できない。</p> <p>今後も引き続き、利用者が安心安全で利用しやすい自転車等駐車場運営をお願いしたい。</p>
A	17	
B	3	
C	0	